



ふぁみりーさぽーと のあ 認可保育園へ!

ふぁみりーさぽーと “のあ”は、「愛されて育つ」をモットーに、地域に根差して保育に取り組んでいます。このたび、開園当初からの念願が叶い、認可保育園移行に向けて整備する保育園に選ばれました!一般財団法人オアシスは交渉関係を担当し側面よりサポートしました。今回は、園長の徳武あさひさんに、お話しを伺いました。



“のあ”が入っている野七里のクリスタルチャペル。1階が“のあ”です

「世間では、子どもたちへの虐待が増える一方、その家族に届き得ない現状があります。子どもたちを守り、そして、子育てに行き詰らないように、ご家族もサポートしていきたい。そのような思いから、志を同じくするスタッフが集まり、2002年4月に、“のあ”は、栄区の朝日平和台に認可外保育室として開所しました。当初の建物は坂道を登り切ったところにあり、人通りも少ない場所でしたが、少しずつ子どもたちが集まってきてくれました。

2010年、今の栄区野七里の土地に移転しました。この広大な土地では子どもたちはリスを見掛けたり、裏山で探検ごっこをしたり、隣の人工

芝グラウンドでのサッカー練習を応援したり、のびのびと過ごしています。地域の方々と子どもの交流も生まれました。そして、“のあ”は認可外保育室から、横浜保育室になることができました。

でも、横浜保育室ではカバーしきれない点がありました。横浜保育室の助成金は3歳未満の子どもにのみ下りるので、3歳以上は保育料を高く設定せざるを得ませんでした。3歳まで子どもたちやご家族と良い関係を築いても、経済的な理由で3歳を過ぎると他の認可保育園に転園してしまう。。0歳児から5歳児(就学前)をお預かりし、家族ごとサポートしたいという願いはあるものの、なかなか実現に至らない面がありました。

そのような中、子どもに関わる国の制度が変わり、認可保育園取得のチャンスがやってきました。満を持して申請をし、とうとう7月に、認可保育園へ移行する整備対象施設の1つとなりました。“のあ”にとって、長年の念願が叶った大きな前進でした。順調に進めば、来年4月から認可保育園になります!

たくさんの美味しい食べもの、素敵なおもちゃがあったとしても、子どもたちは心が満たされることがあります。愛がなければ人の心は育っていかないのです。“のあ”では、人生の大切な土台を形成する幼児期の重要な時を、変わる事のない神の言葉と愛とにより育まれるよう、親とスタッフで協力して取り組んでいきます。そして、同時に親とスタッフたちも育てられ、共に成長してゆくことを目指しています。」



▲全面ガラス張りの室内。光と緑の中で伸びやかに

▼お誕生会



▲隣接する人工芝グラウンド

▼ご家族も参加して焼き芋大会



▲保育スタッフ(前列中央が徳武園長)

▼手作りのお誕生日ケーキに入刀!

▼クリスマス恒例の子どもたちによる降誕劇



トピックス

地域作業所 まってるの「お弁当販売」

地域作業所 まってるは、障がいのある方が、楽しく安心して過ごせる居場所を提供したいという願いから、2004年にスタートしました。今回は、「まってる」の活動の一つ、お弁当販売についてご紹介します。

「横浜女子短期大学」 2014年6月から、週3～4日のペースで、まってるで調理したお弁当やお茶を販売しています。主に校内で開催される研修会の受講者や、短大職員の方々がお客様です。お弁当は大好評で、短大職員の方は、自主的に、まってるのお弁当販売の宣伝までしてくださっています。販売の度に、職員の方々との関係も深まっています。

「栄区役所」 栄区役所でのお弁当と惣菜販売を始めてから、はや6年半が経ちました。すっかり定着していて、販売日の火曜を楽しみにしているファンの方がたくさんいます。男女共同参画センター横浜（戸塚区）でも販売を行っており、他にも、ほぼ毎日、定期的にお弁当をお届けしているところがあります。



栄区役所でも

まってるの登録メンバーの方々は、お弁当の薄いアルミカップを一枚一枚丁寧に洗って並べたり、そこにおかずを詰めたり、洗濯したフキンをたたんだり、販売のときに店頭で立ったりなどして、お弁当販売に携わっています。

登録メンバーやスタッフの真心を伝えるお弁当やお惣菜。予約や注文も承っていますので、ぜひお買い求めください。(お問い合わせ: ☎080-5181-1681 地域作業所まってる) 地域の障がい者福祉の一翼を担う まってる の働きを、一般財団法人オアシスも応援しています。



横浜女子短大での販売



NPO ニュース

関係NPO法人の活動状況です

ふぁみりーさぼーとのあ



お花を笑顔で受け取っていただきました

5月は、近隣の保育園の交流で、マジックショーに参加しました。6月の第2週は花の日。区役所や消防署、保育園、地域ケアプラザや特養、自治会など近隣の諸施設にお花を配り、日常の感謝をしました。7月は年長児のお泊り保育がありました。

のあインターナショナルスクール



レクチャーの様子

6月20日、昨年に続き、のあISのために三菱電機(株)と横浜市が主催してくださったナイトウォークで上郷自然観察の森に行きました。レクチャーの方のレクチャーの後、ゲンジホタルが空を舞い、ヘイケホタルが草むらで輝く幻想的な姿を間近に見ることができました。

エスプランサ・スポーツクラブ



ミナトSC戦後、勝利に沸く選手たち

U-15クラブユース選手権関東大会が行われ、初戦は6月22日に千葉のミナトSCと対戦し、関東大会に初勝利しました！
7月31日には、20名のジュニアユース選手が約2週間のアルゼンチン研修に出かけました！

ふぁみりーさぼーと泉



泉3号車

泉の3号車は、ロゴマークをあしらったマグネットを特注して車体に貼り、きれいにお化粧しました。7人乗りの車内シートをフラットにできるので、横になったままでもお乗りいただけます。

**** オアシスの活動は、支援企業の皆さまやサポーターの皆さまによって支えられています ****

(五十音順・敬称略)

支援企業

24社 (7月末現在)

アマノ株式会社
株式会社イチネン
株式会社栄港建設
NPO法人エスプランサ・スポーツクラブ
株式会社オーガスト
株式会社大塚商会

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
株式会社サンビルダー
株式会社社典船山博善社
株式会社ジャパン ビバレッジ ホールディングス
セコム株式会社
ダイドードリンコ株式会社

株式会社千葉増改築
株式会社ノア
株式会社パーソナルセキュリティ
株式会社白洋舎
NPO法人ふぁみりーさぼーと泉
株式会社ファンクル

有限会社ファンタジア
株式会社ホームコンサルタント
万座温泉 日進館
株式会社ユカ
横浜女子短期大学
理想科学工業株式会社

オアシスサポーター

101名 (7月末現在)

サポーター入会のお申込みは、オアシス事務局(Tel.045-894-3500)まで

青木徳子	石川ひろみ	小澤守	北川嘉之	首藤孝子	田中靖子	濱田堯史	前嶋淳子	矢崎道子
浅見真実子	石森敦子	小野美佐子	金動完	白井紀子	千葉明德	平田廉吉	牧野幸弘	山神泰
荒井ゆかり	出雲房子	オルテガ・グスタボ・	木村秀子	白川市子	チョ・イナ	平野修一	松井恵	山崎維子
飯島弘一	井上昭三	かほり	木脇久代	鈴木恵子	月井博	平野尚美	松下千栄	横須賀悦子
飯田登喜子	岩村美奈子	風間郁乃	黒田郁子	鈴木憲三郎	月井みちる	広瀬守	松本恵子	横山欣也
池田和雄	瓜生由美子	梶野智弘・道子	小林久子	鈴木美和子	辻昭明・久美子	福田理佳	水上裕子	渡部直子
池田恵賜	江熊あゆみ	梶野幸枝	小林美枝	高岡由佳	角田敦	藤江理子	溝口修	匿名1名
池田聖献・雅美	生沼修一	金平勝広・美奈子	斎藤美智子	高橋真知子	徳永理圭	藤原孝司	箕輪憲昭	
池田登喜子	大町一志	狩野琢三	佐藤文子	高山常磐	柘内菜穂子	星本貞雄・善花	明珍玲子	
池田博	大山彰・良子	栢希恵子	品澤輝子	田崎桂子	中島鎮夫	細沼好子	NPO法人未来塾	
池田ゆみ子	小川史子	辛島敦生・祥子	島崎正光	田中保	名取克範	本間弘一	関口正俊	
石川知生	尾崎幸	上林寧	霜山明子	田中博子	西田秀之・恵美子	本間保子	森登・柳子	